

日本語

はじめに

このたびはニコンスピードライトSB-28DXをお買い上げいただき、ありがとうございます。SB-28DXは、ニコンスピードライトSB-28に、デジタル一眼レフカメラ用の自動調光機能を付加したものです。ニコンF5、F100カメラなどと組み合わせて最新のTTL調光機能を発揮するものに加えて、ニコンデジタル一眼レフカメラとの組み合わせでデジタル一眼レフカメラ用D-TTLモード撮影、AA(絞り連動自動調光)モードでの撮影が行えます。また、KODAK DCS 600シリーズカメラとの組み合わせで専用のAA(絞り連動自動調光)モードでの撮影が行えます。本書は、デジタル一眼レフカメラ用D-TTLモード撮影と、デジタル一眼レフカメラおよびKODAK DCS 600シリーズカメラ専用のAA(絞り連動自動調光)モードでの撮影について説明しています。

ご使用の前に

- 同梱の「SB-28使用説明書」に記載されている「安全上のご注意(警告・注意)をよくお読みください。
- 本書、組み合わせるカメラ及びSB-28の使用説明書をよくお読みください。
- 本書の(※P.00)は、「SB-28使用説明書」の参照ページを示しています。

組み合わせるカメラと使用説明書について

ニコンデジタル一眼レフカメラと可能なスピードライト撮影

- デジタル一眼レフカメラ用D-TTLモード撮影(本書)
- AA(絞り連動自動調光)モードでの撮影(本書)
- A(外部自動調光)モードでの撮影(SB-28使用説明書)
- M(マニュアル)モード(FPも含む)での撮影(SB-28使用説明書)
- マルチフラッシュモードでの撮影(SB-28使用説明書)

※使用レンズのタイプにより、異なるTTL動作を行います。本書ではすべてのTTL(4種類)の総称として「デジタル一眼レフカメラ用D-TTLモード撮影」または「D-TTLモード撮影」とします。

注意

- SB-28の使用説明書では、デジタル一眼レフカメラがAグループに属するものとしてお読みください。
- SB-28の使用説明書の「TTLモードでの撮影」はできません。
- スレープフラッシュコントローラーSU-4を使用したコードレス増灯撮影を行う場合は、AAモードまたはAモードを使用してください。
- TTLコードSC-17/18/19を使用したTTL増灯撮影はできません。

KODAK DCS 600シリーズカメラと可能なスピードライト撮影

- AA(絞り連動自動調光)モードでの撮影(本書)
- A(外部自動調光)モードでの撮影(SB-28使用説明書)
- M(マニュアル)モード(FPも含む)での撮影(SB-28使用説明書)
- マルチフラッシュモードでの撮影(SB-28使用説明書)

注意

- SB-28の使用説明書では、DCS 600シリーズがAグループに属するものとしてお読みください。
- SB-28の使用説明書の「TTLモードでの撮影」はできません。
- デジタル一眼レフカメラ用D-TTLモード撮影はできません。
- スレープフラッシュコントローラーSU-4を使用したコードレス自動調光増灯撮影は可能です。
- TTLコードSC-17/18/19を使用したTTL増灯撮影はできません。

表示パネル

SB-28DXの表示パネルの一部が、SB-28と異なります(※P.4～5)。

D-TTLモード表示

A	D	TTL	ISO	200	Hz	M	1/80	2	4	6	9	13	18	m
iso 8888Hz F 1/8+8.8														
0.6 0.8 1.1 5 2 3 4 6 9 13 18 m														
2 3 4 5 7 10 15 20 30 40 60 ft														
ZOOM M 8 mm F 8.8 STBY														
ZOOM MODE SEL + -														
ON/OFF														

D-TTLモード撮影

デジタル一眼レフカメラ

スピードライトが撮影のための本発光をする直前にモニター発光を行い、被写体からの反射光をTTL分割測光した後、最適な露出となるように本発光を制御します。カメラの感度、絞り値、焦点距離または露出補正値などのデータはSB-28DXに自動的に伝達されます(CPU内蔵ニッコールレンズ使用時)。

使用するレンズなどにより、以下の4種類の調光制御が行われます。

装着レンズ	可能な撮影※	表示パネル	調光制御の内容
D/GタイプAFレンズ	D-3Dマルチ眼調光	D TTL 3D	モニター発光の情報にレンズからの距離情報を加えて、より正確な自動調光撮影を行います。
D/Gタイプ以外のAFレンズ	D-マルチ眼調光	D TTL 3D	マルチパターン測光とモニター発光に基づいて、被写体と背景の露出をバランスよく制御します。
CPU内蔵ニッコールレンズ以外のレンズ	簡易D-TTL-眼調光	D TTL 3D	中央部重点測光によって背景露出を求め、モニター発光に基づいて、被写体と背景の露出をバランスよく制御します。

上記すべてのレンズでスタンダードD-TTL調光(D **TTL**)に設定できます。この場合、モニター発光を中央部重点測光してTTL調光を行います。被写体と背景の区別はせず、全体を一つのシーンとして扱います。
*また、カメラの測光モードがスポット測光の場合、スタンダードD-TTL調光となります。

カメラを次のように設定します

- 感度**
…デジタル一眼レフカメラの感度をセットします。セット方法は、カメラの使用説明書をお読みください。
- 露出モード**
CPU内蔵ニッコールレンズの場合：
すべての露出モードが使用可能です。
CPU内蔵ニッコールレンズ以外の場合：
絞り優先オート(A)またはマニュアル(M)露出モードに設定します。
- 絞り値**
CPU内蔵ニッコールレンズの場合：
レンズの絞り値を最小絞りにセットし(Gタイプレンズを除く)、カメラ側で絞り値をセットします。設定できる絞り値は、表1「D-TTLモード撮影」可能な感度・絞り値および調光範囲」を参照してください。
CPU内蔵ニッコールレンズ以外の場合：
レンズの絞りリングを回してセットします。この場合、SB-28DXの表示パネルの絞り表示はレンズに設定した絞り値と連動しません。
前もって調光距離を確認する場合は、SB-28DXの(田)または(田)ボタンでレンズに設定した絞り値と同じ値を設定し、調光範囲バーグラフで確認してください。

SB-28DXを次のように設定します

- 撮影モード**
D-3Dマルチ眼調光またはD-マルチ眼調光
D-TTL 3D
簡易D-TTL-眼調光
D-TTL
スタンダードD-TTL調光
…(MODE) ボタンを押すとD **TTL** **3D** やD **TTL** **3D** が表示されます。もう一度(MODE) ボタンを押すとD **TTL** が表示されます。

6 レディライトの点灯を確認して撮影します。

-
- …SB-28DXがフル発光して撮影の結果に露出不足の可能性がある場合は、発光直後にレディライトとTTL調光アンターマークが約3秒間点滅して警告します。同時に、目安となるアンダー量(−3段まで)が表示されますので、それを参考にして、撮影距離、絞り値、調光範囲を再度確認し、撮影し直してください。(−1.0が表示された場合は、2.2より1段以上開けて撮影し直すことをおすすめします)

-
- …TTL調光アンターマーク
アンダー量
…消灯したアンダー量は、() ボタンを押すと再表示できます。

表1. D-TTLモード撮影で可能な感度・絞り値および調光範囲

ISO感度	調光範囲 (m)										
1600	800	400	200	18mm	20mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm
8	5.6	4	2.8	0.8-9	0.9-10	1.4-15	1.5-16	1.6-18	1.9-20	2.2-20	2.2-20
11	8	5.6	4	0.6-6.3	0.7-7.0	1.0-11	1.0-11	1.2-12	1.4-14	1.5-16	1.6-17
16	11	8	5.6	0.6-4.5	0.6-5.0	0.7-7.5	0.7-8.0	0.8-9.0	1.0-10	1.1-12	1.1-12
22	16	11	8	0.6-3.1	0.6-3.5	0.6-5.3	0.6-5.0	0.6-6.3	0.7-7.4	0.8-8.4	0.8-8.8
32	22	16	11	0.6-2.2	0.6-2.5	0.6-3.7	0.6-4.0	0.6-4.5	0.6-5.2	0.6-6.0	0.6-6.2
45	32	22	16	0.6-1.5	0.6-1.6	0.6-2.6	0.6-2.8	0.6-3.1	0.6-3.7	0.6-4.2	0.6-4.4
64	45	32	22	0.6-1.1	0.6-1.2	0.6-1.8	0.6-2.0	0.6-2.2	0.6-2.6	0.6-3.0	0.6-3.1
64	45	32	22	0.6-0.7	0.6-0.8	0.6-1.3	0.6-1.4	0.6-1.5	0.6-1.8	0.6-2.1	0.6-2.2
—	—	64	45	—	—	0.6	0.6-0.9	0.6-1.0	0.6-1.1	0.6-1.3	0.6-1.5

光量補正による露出補正

D-TTLモード撮影では、スピードライトの光量レベルを変えて撮影することができます。必要に応じてSB-28DXの(田)または(田)ボタンを使って、表示パネルの補正量を確認しながら、−3段から+1段まで1/3段さざみでスピードライトの光量を補正できます。

(※P.75～77)

…カメラ側で露出補正を行うこともできます。設定方法は、カメラの使用説明書をご覧ください。

…SB-28DX、カメラの両方で露出補正した場合、SB-28DXの表示パネルの調光範囲バーグラフは両者の補正量を加算して変化した、加算した補正量で撮影されます。ただし、光量補正値はSB-28DXで設定した補正量しか表示されません。

AA(絞り連動自動調光)モードでの撮影 デジタル一眼レフカメラ・DCS 600シリーズ

カメラの感度(ISO)、絞り値、焦点距離または露出補正値などのデータがSB-28DXに自動的に伝達され、SB-28DXの外部自動調光センサーで適正な露出になるように調光します。

- AAモードは、CPU内蔵ニッコールレンズ(IXニッコールおよびF3AFを除く)使用時のみ使用可能です(※P.11)。CPU内蔵ニッコール以外のレンズ使用時には、AAモードは自動的に() (SB-28の外部自動調光)モード(※P.46)に切り替わります。

カメラを次のように設定します

- 感度(ISO)**
…カメラの感度(ISO)をセットします。セット方法は、カメラの使用説明書をお読みください。
- 露出モード**
…絞り優先オート(A)またはプログラムオート(P)にします。マニュアル(M)またはシャッター優先オート(S)を使用する場合は、絞り値が調光範囲外にならないよう注意してください。
- 絞り値**
絞り優先オート(A)時：ご使用のレンズの絞り値を最小絞りにセットし、カメラ側で絞り値をセットします。設定できる絞り値は、表2「AA(絞り連動自動調光)および()モードで可能なISO感度・絞り値および調光範囲」を参照してください。
プログラムオート(P)時：ご使用のレンズの絞り値を最小絞りにセットします。
…いずれの露出モードでも、調光範囲外の絞りではSB-28DXの表示パネルの調光範囲バーグラフが消灯し、絞り値と調光補正マーク、光量補正値が点滅して警告します。表2を参照して絞り値または撮影距離を確認してください。

SB-28DXを次のように設定します

- 撮影モード**
…(MODE) ボタンを押して() を表示させます。調光補正マークと光量補正値も表示されます。AAモード時も、外部自動調光モード時も、表示パネルには() が表示されます。
…KODAK DCS 620カメラにSB-28DXを取り付け、最初に電源をONにしたときは、自動的にAAモードになります。

5 レディライトの点灯を確認して撮影します。

-
- …スピードライト発光直後にレディライトが約3秒間点滅した場合は、撮影の結果に露出不足の可能性がありま。表2を参照して、撮影距離、絞り値、調光範囲を再度確認し、撮影し直してください。

撮影前に調光範囲を確認するには

カメラを実際の撮影と同じに設定し、同じ構図で構え、シャッターボタンを半押ししてから、SB-28DXの(ELASD) ボタンを押します。発光直後にレディライトが約3秒間点滅した場合は、実際の撮影でも露出不足の可能性がありま。表2を参照して、撮影距離、絞り値、調光範囲を再度確認し、撮影し直してください。

表2. AA(絞り連動自動調光)および()モードで可能なISO感度・絞り値および調光範囲

ISO感度	調光範囲 (m)												
1600	800	400	200	10000	18mm	20mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	
A	8	5.6	4	2.8	2	0.8-9	0.9-10	1.4-15	1.5-16	1.6-18	1.9-20	2.2-20	2.2-20
B	11	8	5.6	4	2.8	0.6-6.3	0.7-7.0	1.0-10	1.0-11	1.2-12	1.4-14	1.5-16	1.6-17
C	16	11	8	5.6	4	0.6-4.5	0.6-5.0	0.7-7.5	0.7-8.0	0.8-9.0	1.0-10	1.1-12	1.1-12
22	16	11	8	5.6	0.6-3.1	0.6-3.5	0.6-5.3	0.6-5.6	0.7-6.3	0.7-7.4	0.8-8.4	0.8-8.8	
32	22	16	11	8	0.6-2.2	0.6-2.5	0.6-3.7	0.6-4.0	0.6-4.5	0.6-5.2	0.6-6.0	0.6-6.2	
45	32	22	16	11	0.6-1.5	0.6-1.7	0.6-2.6	0.6-2.8	0.6-3.1	0.6-3.7	0.6-4.2	0.6-4.4	
64	45	32	22	16	0.6-1.1	0.6-1.2	0.6-1.8	0.6-2.0	0.6-2.2	0.6-2.6	0.6-3.0	0.6-3.1	
64	45	32	22	0.6-0.7	0.6-0.8	0.6-1.3	0.6-1.4	0.6-1.5	0.6-1.8	0.6-2.1	0.6-2.2	—	
D	—	—	64	45	32	—	—	0.6	0.6-0.9	0.6-1.0	0.6-1.1	0.6-1.3	0.6-1.5

光量補正による露出補正

AAモード撮影では、スピードライトの光量レベルを変えて露出を補正することができます。必要に応じて、SB-28DXの(田)または(田)ボタンを使って、表示パネルの補正量を確認しながら、−3段から+1段まで1/3段さざみでスピードライトの光量を補正してください。

…表2のA～Dゾーンでは、以下の制限がありますのでご注意ください。

- Aゾーン： マイナス側の光量補正はできません。
- Bゾーン： −1段を超える光量補正はできません。
- Cゾーン： −2段を超える光量補正はできません。
- Dゾーン： プラス側の光量補正はできません。

…制御できない補正量を設定すると、表示パネルの調光範囲バーグラフが消灯し、絞り値と調光補正マーク、光量補正値が点滅して警告します。

…カメラ側で露出補正を行うこともできます。設定方法は、カメラの使用説明書をご覧ください。

…SB-28DX、カメラの両方で露出補正した場合、SB-28DXの表示パネルの調光範囲バーグラフは両者の補正量を加算して変化した、加算した補正量で撮影されます。ただし、光量補正値はSB-28DXで設定した補正量しか表示されません。

【参考】

■(田)および(田)モード時のガイドナンバー計算(※P.60～64)

(田)、(田)モード時のガイドナンバー (ISO200・m、20℃)

光量	照射角							
	18mm	20mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm
1/1 (Full)	25	28	42	45	51	59	68	71
1/2	18	20	30	32	36	42	48	50
1/4	12.7	14	21	22.5	25.5	30	34	36
1/8	9	10	15	16	18	21	24	25
1/16	6.4	7	10.5	11.3	12.7	15	17	18
1/32	4.5	5	7.5	8	9	10.5	12	12.7
1/64	3.2	3.5	5.3	5.7	6.4	7.5	8.5	9

ISO200以外のフィルム使用時のガイドナンバー-算出係数

上表のガイドナンバーに下記の係数を乗じて求めます。

ISO	80	100	200	400	800	1600
係数	0.630	0.707	1	1.414	2	2.827

English

Introduction

Thank you for purchasing the Nikon Autofocus Speedlight SB-28DX. The SB-28DX is a special version of the Nikon Speedlight SB-28 that features a D-TTL Auto Flash mode for Nikon Digital SLR cameras, and an Auto Aperture (AA) mode for Nikon Digital SLR cameras and Kodak DCS600 Series digital cameras. This instruction manual describes how to use the SB-28DX in the D-TTL Auto Flash mode with Digital SLR cameras and the AA mode with Digital SLR cameras and Kodak DCS600 Series cameras.

Of course, the SB-28DX works well with film-based Nikon cameras such as the F5 and F100.

Notes on using the SB-28DX

- Before using the SB-28DX, please read carefully the notes on safety operations—especially the cautions—appearing in the SB-28 instruction manual provided in the same package.
- Read the instruction manuals of the SB-28, SB-28DX, and the camera you are using in combination with this unit.
- When you see the note “*see page xx,” this indicates the page to refer to in the SB-28 instruction manual.

Usable cameras and their respective instruction manuals

Available flash modes with Nikon Digital SLR cameras

- D-TTL Auto Flash mode for Digital SLR cameras* (refer to this manual).
- Auto Aperture (AA) mode (refer to this manual).
- Non-TTL Auto Flash A mode (refer to the SB-28’s manual).
- Manual M mode (including FP High-Speed Flash sync FP) (refer to the SB-28’s manual).
- Repeating Flash mode (refer to the SB-28’s manual).

*Four TTL auto flash modes are available depending on the type of Nikkor lenses you are using. In this manual, all flash modes are generally referred to as “D-TTL Auto Flash mode for Digital SLR cameras” or “D-TTL Auto Flash mode.”

Notes:

- Because Digital SLR cameras are not listed in the camera groups in the SB-28 instruction manual, refer to the information for “Cameras in Group I.”
- TTL Auto Flash Mode as described in the SB-28 instruction manual is not possible.
- Multiple flash operation using the Wireless Slave Flash Controller SU-4 is not possible. Use the AA or A mode.
- TTL multiple flash operation using a sync or remote cord such as TTL Remote Cord SC-17 or TTL Multi-Flash Sync Cords SC-18 or SC-19 is not possible.

Available flash modes with Kodak DCS600 Series digital cameras

- Auto Aperture (AA) mode (refer to this manual).
- Non-TTL Auto Flash A mode (refer to the SB-28’s manual).
- Manual M mode (including FP High-Speed Flash sync FP) (refer to the SB-28’s manual).
- Repeating Flash mode (refer to the SB-28’s manual).

Notes:

- Because DCS600 Series cameras are not listed in the camera groups in the SB-28 instruction manual, refer to the information for “Cameras in Group I.”
- D-TTL Auto Flash mode for Digital SLR cameras is not possible.
- Multiple flash operation using the Wireless Slave Flash Controller SU-4 is possible.
- TTL multiple flash operation using a sync or remote cord such as TL Remote Cord SC-17 or TTL Multi-Flash Sync Cords SC-18 or SC-19 is not possible.

LCD panel

The LCD panel on the SB-28DX differs slightly from that of the SB-28 (※P. pages 4–5).

Flash mode indicator for Digital SLR cameras	A D TTL 3D M 1/80 2 4
	iso 8888Hz F 1/8+8.8
	0.6 0.8 1.1 5 2 3 4 6 9 13 18 m
	2 3 4 5 7 10 15 20 30 40 60 ft
	ZOOM M 8 mm F 8.8 STBY
	ZOOM MODE SEL + -
	ON/OFF

Taking flash photographs in the D-TTL Auto Flash mode

In this mode, the SB-28DX fires a series of nearly invisible preflashes, called the Monitor Preflash. These preflashes are detected by the camera’s TTL multi-sensor to control the flash output, ensuring correct exposure. Data such as the camera’s ISO setting, aperture, focal length, and exposure compensation value are automatically transmitted to the SB-28DX (with Nikkor lenses with a built-in CPU mounted.)

The following four flash modes are possible depending on the type of lens mounted.

Lens mounted	Available flash mode*	LCD panel	Flash operation
D/G-type AF Nikkor lenses	3D Multi-Sensor Balanced Fill-Flash for Digital SLRs	D TTL 3D	Monitor preflash data is integrated with the distance information from D-type Nikkor lenses to obtain correct TTL auto flash operation.
Non-D/G-type AF Nikkor lenses	Multi-Sensor Balanced Fill-Flash for Digital SLRs	D TTL 3D	Based on camera’s Matrix Metering system and monitor preflash data, flash output is automatically controlled to keep both subject and background correctly exposed.
Nikkor lenses without a built-in CPU</			

